

【塩ビ管の歴史】

水道用硬質ポリ塩化ビニル管の歴史年表

(出典：塩化ビニル管・継手協会)

年	規格制定等
昭和 11 (1936)	ドイツで初めて塩ビ管を生産
昭和 26 (1951)	日本の塩ビ管第一号誕生
昭和 29 (1954)	「硬質塩化ビニル管」(JIS K6741)が制定される
昭和 31 (1956)	「水道用硬質塩化ビニル管」(JIS K6742)、「同継手」(JIS K6743)が制定される
昭和 42 (1967)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管が販売される
昭和 47 (1972)	「耐衝撃性硬質塩化ビニル管」(JWWA K118)が制定される
昭和 48 (1973)	水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管及び水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管が販売される
昭和 56 (1981)	「水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管」(JWWA K127, K128)及び「水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管」(JWWA K129, K130)が販売される
平成 8 (1996)	水道用ゴム輪ロング受口形硬質塩化ビニル管及び水道用ゴム輪ロング受口形耐衝撃性硬質塩化ビニル管が販売される
平成 12 (2000)	JWWA K127, K129にロング受口管が追加規定される
平成 23 (2011)	JWWA K127とK129が統合されK129に、K128とK130が統合されK130となる